2024　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	人間関係と看護	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	下田　基代枝	実務経験とその関連資格	医療施設にて看護師として勤務していた。		

《授業科目における学習内容》

(前期15時間)
看護におけるコミュニケーションは、患者を直接理解する最も基本的な技術である。そのためには意図的なかかわり方が必要になるが、実際に目的が達成できたのか評価・検証しなければならない。この科目では効果的なコミュニケーション技術を学び、リフレクションとプロセスレコードを用いて振り返りを行う。

《成績評価の方法と基準》

出席状況・授業態度・レポート・演習点と筆記試験

《使用教材(教科書)及び参考図書》

新体系　看護学全書　基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ　　看護リフレクション入門　　自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード

《授業外における学習方法》

実習でコミュニケーションが円滑に行えるように、技術と振り返り方法を必ず復習してください。課題となった場合には、必ず期限内に、指示されたとおりに記録し提出してください。この科目では特に提出物が評価に大きく影響します。

《履修に当たっての留意点》

テキストや資料は基本ですが、授業でのポイントが重要となるので、メモなどを取って積極的に取り組んでください。提出物は指示に沿った記録内容、記録方法が評価の基準となるため、授業をよく聞いておくことが大切です。わからない点はそのままにせず、質問を積極的に行って理解してください。また欠席も評価に影響することになるので十分注意してください。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	看護におけるコミュニケーションの基本を理解できる。	指定教科書他	教科書や資料で予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	Ⅰコミュニケーションとは～Ⅲケアリングとコミュニケーション		
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	看護におけるコミュニケーションの特性を理解できる。	指定教科書他	教科書や資料で予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	Ⅳ看護理論とコミュニケーション～Ⅴ看護とコミュニケーション		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	看護のコミュニケーションを取り巻く状況について理解することができる。	指定教科書他	教科書や資料で予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	Ⅵコミュニケーションのプロセスに影響する要因		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療のコミュニケーションの基本には信頼関係があることを理解できる。	指定教科書他	教科書や資料で予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	Ⅶ医療における信頼関係とコミュニケーション～Ⅷ障害がある人への対応		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リフレクションを理解し、状況を振り返る方法が理解できる。	指定教科書他	教科書や資料で予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションの演習(リフレクション)①		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リフレクションを利用し、コミュニケーションの振り返りができる。	指定教科書他	教科書や資料で予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションの演習（リフレクション）②		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	プロセスレコードを理解し、状況を振り返る方法が理解できる。	指定教科書他	教科書や資料で予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションの演習（プロセスレコード）①		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	プロセスレコードを利用し、コミュニケーションを振り返ることができる。	指定教科書他	教科書や資料で予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションの演習（プロセスレコード）②		